

2023年度 園評価書

園番号 37 園名 有度西こども園

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A:よくできている B:概ねできている、C:あまりできていない、D:できていない)

| 1 教育・保育目標 | 2 重点目標 | 評価指標 | 園説明 | 自己評価 | 関係者評価 | 園関係者評価委員から | 改善策 (来年度の具体的な取組目標等) |
|------------------|--------------------------|------------------------------------|--|------|-------|---|---|
| 「優しくて たくましい子」 | 「思いを伝え 合って遊びを創 る子」 | 自分の好きなあそびを見つけて、夢中 になって楽しむ | 年度当初は、自分の遊びを見つけられない子もいたが、保育者が一人一人の 発達や興味関心に合った環境構成をし、一緒に楽しみ、「やりたい」思いに 寄り添うことで、子どもたちが遊びの場を自ら選び、安心して楽しむようにな ってきた。 | A | A | ・園庭の様子をみれば、子ども達が夢中になって よく遊んでいるのがわかる。年下児が年上児にあ こがれる関係性が見られ、自然と関わり合っ て遊ぶ中で、遊びを模倣し、年上児のいいところを取 り入れていることから、遊びの内容も、前回とは 違う進歩が見られていた。 ・友だち同士や異年齢でよく関わっている。喧嘩 をすることも大事で、人と関わる上でのいい経験 の場となっている。園児数や規模もちょうどよ く、保育者の目が全園児に行きわたり、みんな で子どもたちを見ているところがいい ・発達の上での個人差もあるのだと思う。集団 での関わり合いの中で友だちに言われて気づくこ ともある。いい学びの場となっていると思う。 | ・子どもたちの遊びの様子や発達をよく見て、環境を工夫して 整えていく。いつも同じではなく、使える時間の工夫や子 どもたちの「やってみよう」と思う遊び出しの環境につい ても深めていく。その中で保育者も一緒に遊び込み、子ども の思いに耳を傾け、子どもと一緒に考えていく。 |
| | | 人と関わることの心地良さを 感じ、遊びを楽しむ | 人と関わるのが好きな子が多く、保育者の問いかけにも素直に 応えたり、遊びの気付きや困ったことを伝えたりする姿が見られる。友だちの遊びに興 味を持ち、刺激されたり模倣したりし、人との関わりを楽しみながら遊んで いる。 | A | A | ・異年齢で日々関わり合う機会を増やし、遊びを模倣し たり、刺激を受けながら楽しめる様にする。 | |
| | | 自分の思いを伝えたり、相手の話を聞 きながら、遊びを進めている | 保育者が思いを引き出したり受け止めたりする関わりをすることで、自分の 思いを伝えたり、相手の話を聞きながら遊びを進めようとする姿が増えてき ている。しかしまだ一方的に話をしたり、相手の話を聞くことが難しい子も いる | B | B | ・自分の思いを伝えたり友達の思いを聞こうとする子が増 えてきた。引き続き、保育者が仲立ちとなり思いを伝え合 いながら、遊びが進められるよう丁寧に関わっていく。また、話 を聞く場を作ることや、聞く姿勢を伝えていくことも大切 にしていきたい。 | |

II 各領域に関わること

| 大項目 | 中項目 | 評価指標 | 園説明 | 自己評価 | 関係者評価 | 園関係者評価委員から | 改善策 (来年度の具体的な取組目標等) |
|----------------------|------------------------------------|---|---|------|-------|--|--|
| 1 こども園における 教育及び保育 | (1)0歳から小学校 就学前までの一貫 した教育及び保育 | 発達に見合った遊びを楽しめるような 場や機会を作ることができるように工 夫していく | 子ども達の遊びの工夫や興味関心を観察し、担任同士で共有しながら、試行 錯誤したり、時に子どもたちと一緒に環境を作って楽しんでいる。また、月 案や週案の検討をする中で、子どもの遊びを振り返る機会を持ち、より深い 遊びへと発展していくようにした。 | A | A | ・健康観察表の書式を変えたことにより、様々な 職員が一人一人の子についての情報を共有でき るようになってきた。兄弟関係のある 保護者からしても、どの先生も情報を共有して いることから、同じことを何度も言う必要がなく、 助かっている。 ・散歩マップは、ようやく形が定着して活用でき るようになってきた。掲示場所も子どもたちに良 く目につく場所で、写真や絵を見たり話したりし て楽しんでいるのがわかる。 ・地震・火災の訓練はいつ起こるかかわらないの で、今後も一生懸命やってほしい。津波の 区域ではないが、避難場所まではブロック塀の場 所も多い。様々なルートを試し落ち着いて避難す る訓練をしておくことと良い。 | 園内研修で月案検討を行い、子どもたちの姿を共 有し、生活やあそび・成長につながりが持てるよ う職員間で連携していく。必要に応じた教材や玩 具を出すタイミングを逃さないようにしていく。 |
| | (2)一日の生活の連 続性及びリズムの 多様性への配慮 | 一人一人の心身の健康状態を把握し、 個に合った生活リズムを作ることがで きるように配慮しながら、活動のバ ランスを図っていく | 前日の様子や家からの連絡、視診、家庭環境など様々な事から一人一人の健康 状態を把握し、必要に応じ活動を変えたりなど、無理なく生活できる配慮 をしている。また健康観察表の書式を変え、継続的に子どもの様子を把握で きるようにし、園全体で情報を共有している。 | A | A | ・散歩マップは、ようやく形が定着して活用でき るようになってきた。掲示場所も子どもたちに良 く目につく場所で、写真や絵を見たり話したりし て楽しんでいるのがわかる。 ・地震・火災の訓練はいつ起こるかかわらないの で、今後も一生懸命やってほしい。津波の 区域ではないが、避難場所まではブロック塀の場 所も多い。様々なルートを試し落ち着いて避難す る訓練をしておくことと良い。 | 個の生活リズムに合わせて職員間で連携を取り合 い関わっていく。保育業務支援システム「コード モン」を利用しながら、登降園時、保護者との伝達 も丁寧にしていく。 |
| | (3)環境を通して行 う教育及び保育 | 散歩マップの活用をしながら、地域の 自然を保育に生かすことができるよう に取り組む | 園内のお散歩マップの写真を見ながら、散歩の様子を伝え合ったり、自分た ちで行きたい場所を決めたりしている。また、後半は異年齢で出かける機会 を増やし、散歩の範囲が広がった。それにより地域の豊富な自然物との触れ 合いを多く持つことができ、あそびに取り入れている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 計画的に散歩に出掛けるようにしていくと共に、 散歩マップの追加作成や活用をし、地域の自然に 触れる機会を増やしていく。また、異年齢で出か ける機会を増やし、散歩範囲を広げていく。 |
| 2 安全管理・指導 | (1)事故防止・防災 | 状況に合わせた対応ができるよう、 様々な状況や時間帯の訓練の機会を作 り、安全意識を高める | 毎月様々な想定地震・火災訓練を行い、反省点を会議などで共有して話し 合い、状況に合わせた対応ができるよう訓練の方法を見直すことで、職員の 安全意識も高まってきている。また、初期消火や伝達訓練等を行うと共に、 子どもたちに備蓄の紹介や調理をしたりしている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 様々な状況や時間を想定して訓練を実施し、反省を次 に活かしていく。また、避難経路は一つではなく様 々な経路を試しておく。交番や消防署等の関係機関と連 携を取り合い、安全への意識を高めていく。 |
| 3 保健管理・指導 | (1)健康教育の充実 | 栽培等の食育の取り組みや、環境教育 (肥料・紙作り)などを通して健康へ の関心が持てるようにする | 年長児は環境教育で肥料作りや紙作り等貴重な体験をすることができた。夏 野菜の栽培を通して植物の生長を感じ収穫を楽しむにしたり、給食室と連携 しクッキングや調理してもらったものを味わうことで食に対する意識も高 めるよう努めている。また、食育での学びを掲示し、保護者にも健康への関心 が持てるような働きかけをしている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 野菜の栽培や収穫、花育、肥料作りなどの環境教 育等の取り組みを行う。活動は事務室前の展示 ケースや掲示板、おたより等で保護者に発信す ることで、健康への関心につなげていく。 |
| 4 特別支援教育・ 保育 | (1)支援体制づくり の推進 | 個別の支援計画に基づき、全職員で共 通理解をもちながら支援をしたり、外 部の研修に参加したことを園内で活か したりしていく | 毎月のケース会議や定期的に行う支援者会議では、支援児や気になる子の情 報や支援方法を職員全体で共通理解できるようにした。また、研修で得た情 報も会議等で共有し、皆が同じ支援ができるように心掛けている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 個々の支援計画に基づき全職員が共通理解し支援 していく。イチゴの会の実施により、個別支援で の成功例を増やしていく。また、関係機関と連携 を図っていく。 |
| 5 組織運営 | (1)組織体制の充実 | 担当者が分掌に責任をもって取り組む と共に、全職員が協力し、連携をとり ながら教育・保育を進める | 分掌を中心に全体的計画に沿って、行事や園内の様々な分掌が企画案を職員 に働きかけ、連携・協力しながら行事を進めている。時に分掌担当に任せが ちになることもあるので、アンテナを高く持ってそれぞれが全体的計画を意 識し、園全体の活動に参加できるようにしていきたい。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 職員一人一人が分掌に責任を持ち、協力し合いな がら進めていく。また、全体的計画を意識し、反 省や課題を出して次回や次年度につなげていく |
| 6 研 修 | (1)研修体制の充実 | 研修のねらいや手だてについて共通理 解をし、子ども達の伝え合う力を育て る支援を考えながら、園内研修に取り 組む | 毎月の園内研修で、研修テーマに沿って話し合いをすることで、自分がやる べきことが明確になり、日々の保育の中で手立てを意識できるようになっ た。また、園内での公開保育を通し、個々の課題を園全体のものとして捉え 協議し、園としての教育・保育のあり方を深めていった。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 研修テーマに添った手立ての意識付けを行い、保 育に活かしていく。また視点を絞った公開保育の 実施や園内研修に取り組んでいく。 |
| 7 教育・保育環境 整備 | (1)教育・保育環境 の充実 | 思いを伝え合いながら、遊びを創って いけるような支援をしていくために教 材研究をしていく | 毎月、子どもの興味に合わせた環境作りをクラスで話し合い、幼児・乳児会 議、また、園内研修で共有している。会議の中で園庭の環境の使い方や、遊 びに必要なものを話し合い、環境を整えていけるようにしている。教材研究 の時間の確保や教材研究の知識を今後深め、来年度につなげていきたい。 | B | B | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 子どもの遊びや発達を捉えながら、月案検討の中 で園庭環境や遊びに必要な玩具等を話し合い、環 境を整えていく。日々の中で教材研究の時間を確 保し、教材についての知識も高めていく。 |
| 8 家庭との連携・ 協力 | (1)家庭教育への支 援機能の充実 | 子どもの健康や日々の保育の様子を掲 示板、連絡ノート、おたよりなどで積 極的につたえていく | 毎日掲示板を見やすくレイアウトし、保護者に日々の子どもたちの様子を写 真や文章で分かりやすく伝えている。PCメールや電話等で欠席遅刻などを確 実に把握し、職員間で共有している。送迎時には個別に声をかけたり、必要 に応じて保護者と面談を行うことで保護者支援に繋げている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 日々の保育の様子や行事の取り組み等を掲示板や 連絡ノート、おたよりなどで伝えていく。送迎時 にも子どもの様子や体調について丁寧に伝えてい く |
| 9 近隣の学校との 連携 | (1)近隣の園との連 携の推進 | 近隣の園や小学校に公開保育をし たり、授業参観をしたりし、保護者にも 連携の様子を情報発信していく | 近隣園の公開保育への参加や小学校の公開授業への参観、また、他園職員や 小学校の先生に自園の公開保育に参加してもらうことで、保育環境や子ども への支援の仕方に多くの学びがあった。年長児の散歩や体験入学など、小学 校とのつながりについて、今後も保護者に向けて情報を発信をしていき たい。 | B | B | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 近隣園の公開保育や小学校の公開授業等を参観し 合い、連携をとっていき、保護者にも連携の様 子を情報発信していく |
| 10 地域との連携 | (1)信頼される園づ くりの推進 | 自治会、高齢者施設などとのふれあ いの場を大切にし、信頼関係を築くこ とができるような園を目指す | 絵本の読み聞かせやニチイさんとの交流、S型サーブिसやトークの会の訪問 などを通して、子ども達が地域の方々と親しみを持って関わろうとする姿が 見られている。 | A | A | ・食育の活動内容や、「七五三」や「おつきみ」 など季節の行事を伝えることで、子どもや保護者 も興味関心を持つことができている。送迎時に必 ず通る場所なので、子どもたちがとてもよく見て いるので、掲示場所がとても良い。普段家では食 べない食材も、園では友だちにつられて食べてい て、給食があることは有難い。 ・支援計画に関しては、一人の担当だけでなく、 みんなで子どもを見ていることが伝わる。トラブ ルが起きた時、色々な職員が見ていることで、問 題行動の前の行動に気付け、防げることもある。 また個別支援のいちごの会への参加により、成功 例が増えることで成長につながっていることを感 じ、先生たちの支援に助けられている。 ・分掌は責任をもってやるのが大事。色々な人 が色々な分掌をやり、経験していくことが良い。 また、ベテランの先生の力を借りながらやって いるところも良いと思う。 ・公開保育を5回もやっていることが素晴らしく、 学び合いの場になっている。 | 今までの地域との交流の積み重ねを大切にし、地 域とつながる活動を継続していく |